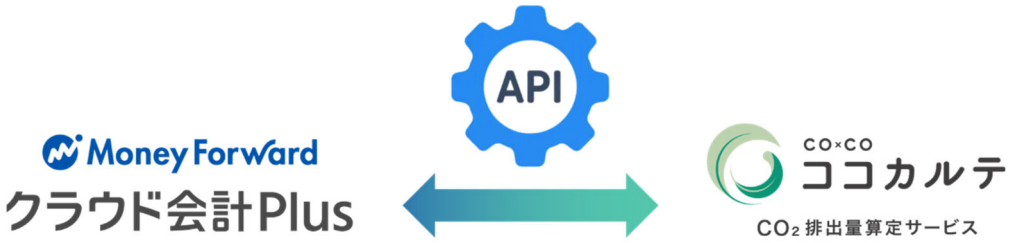
お知らせ

2026 年 11 月 12 日
SCSK 株式会社
株式会社マネーフォワード

「マネーフォワード クラウド会計 Plus」と「CO×CO カルテ」が API 連携
～会計データとのシームレスな連携により、CO_2 排出量算定の効率化を実現～

SCSK株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役　執行役員　社長：當麻　隆昭、以下　SCSK）が提供する　CO_2 排出量算定サービス「CO×CO　カルテ（ココカルテ）」は、バックオフィス向けクラウドサービスを展開する株式会社マネーフォワード（本社：東京都港区、代表取締役社長　グループ　CEO：辻　庸介、以下　マネーフォワード）が提供する「マネーフォワード　クラウド会計 Plus」との API 連携を開始しました。
本連携により、「マネーフォワード　クラウド会計　Plus」をご利用中の企業は、日々の会計業務で蓄積された仕訳・勘定科目のデータを「CO×CO　カルテ」へ自動で連携し、CO_2 排出量の算定に活用できます。これまで必要だった専門的な設定や追加作業は不要で、会計データだけで CO_2 排出量を自動算定・可視化できます。



1. 背景・目的：　サプライチェーン全体の脱炭素化により、取引先からの排出量提出要請が今後急増

2024 年以降、国内外で企業の気候関連情報開示に関する制度整備が進んでいます。欧州の CSRD※1 や ISSB※2 による開示基準の整備に加え、日本でも SSBJ 基準※3 の公表や GX-ETS※4 の本格開始など、企業に排出量の把握・開示や削減に向けた対応が求められています。その影響はサプライチェーンにも波及し、中堅・中小企業でも排出量データの提出要請の増加が見込まれています。しかし、専門人材の不足や算定に必要なデータの収集・集計にかかる負担などから、十分な算定体制を整えることが難しい企業も少なくありません。
こうした課題に対応するため、SCSKは会計データのみで CO_2 排出量を自動算定できる「CO×COカルテ」を提供しています。中堅・上場企業を中心に、データ連携と自動化により会計業務の効率化を支援する「マネーフォワード　クラウド会計 Plus」と「CO×COカルテ」が API 連携を行うことで、会計データを活用した CO_2 排出量算定をよりスムーズにし、企業における脱炭素対応の効率化を支援します。

※1　欧州連合（EU）が定めた企業のサステナビリティ情報開示に関する新制度
※2　国際会計基準財団（IFRS）が策定したサステナビリティ情報開示の国際基準
※3　ISSB 基準との整合性を図って策定された、日本のサステナビリティ情報開示基準
※4　日本政府が導入を進めている排出量取引制度

2.「CO×CO カルテ」と「マネーフォワード クラウド会計 Plus」の連携により実現する主な価値

「CO×CO カルテ」は、企業が保有する会計データをもとに CO_2 排出量を算定できるサービスです。今回の API 連携により、「マネーフォワード クラウド会計 Plus」の会計データを「CO×CO カルテ」へ自動で連携できるようになり、これまで手作業で行っていたデータ取り込みの負担を軽減します。

（1）会計データの“取り込みすら不要”で、算定作業がゼロに

「マネーフォワード クラウド会計 Plus」の仕訳・勘定科目データが自動で「CO×CO カルテ」に連携され、CSV の書き出しやアップロードなどの前処理が不要になります。日々の会計業務の延長で Scope1～3（上流）までの排出量が算定できるため、中堅・中小企業でも無理なく導入できます。

（2）取引先からの排出量提出要請に“即応”できる体制を構築

サプライヤーへの排出量提出要請に対しても、追加投資や専門知識なしで対応できるほか、提出に必要なデータが常に最新化されるため、急な依頼にも遅延なく応じることが可能です。

（3）排出量とコストを同時に可視化し、経営判断を支援

会計データを活用して排出量と関連経費を可視化することで、排出量とコストの両面から現状を把握し、削減施策の検討などに活用できます。算定結果の可視化を通じて、企業の脱炭素に向けた取り組みを支援します。

「CO×CO カルテ」について

CO×CO カルテは、企業が保有する会計データをクラウドサービスへアップロードするだけで、独自開発したアルゴリズムが CO_2 排出量を算定するサービスです。専門知識やツール操作が不要なため、属人化を防ぎ、算定にかかる業務負担を軽減します。排出量と連動する経費を可視化することで意思決定を支援し、中堅・中小企業の脱炭素対応を“負担”から“成長機会”へと転換することを目指しています。
https://www.scsk.jp/sp/cocokarte

【特徴】

（1）算定対象範囲：Scope1、Scope2、Scope3（カテゴリ 1～8。サプライチェーン排出量上流も把握可能）
（2）金額ベースの算定だけでなく、物量ベース（実エネルギー使用量等）の入力機能あり
（3）排出原単位や算定方法は環境省ガイドライン※5 に準拠
（4）CO_2 排出量およびこれに連動する経費も可視化（脱炭素化とコスト削減の両立も支援）
（5）第三者機関による妥当性確認済※6

※5 サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン
※6 国際規格（ISO14064-3）に基づく妥当性を第三者機関（SGS ジャパン）が確認

「マネーフォワード クラウド会計Plus」について

「マネーフォワード クラウド会計 Plus」は、中堅企業・上場企業向けの会計ソフトです。仕訳承認機能や仕訳更新履歴機能などの内部統制機能があり、企業の信頼性を保つために必要な内部統制の効率化を支援します。
https://biz.moneyforward.com/accounting/plus/

【特徴】
（1）データ連携・自動化による会計業務の効率化
（2）豊富なマスタ・帳票による多角的な分析
（3）仕訳承認・権限管理による内部統制への対応
（4）AI エージェントの活用と充実した導入・運用サポート

SCSK株式会社について

SCSK株式会社は、コンサルティングから、システム開発、検証サービス、IT インフラ構築、IT マネジメント、IT ハード・ソフト販売、BPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）まで、ビジネスに必要なすべての IT サービスをフルラインアップで提供しています。また、IT を軸としたお客様や社会との共創による、さまざまな業種・業界や社会の課題解決にむけた新たな挑戦に取り組んでいます。
https://www.scsk.jp/

株式会社マネーフォワードについて

株式会社マネーフォワードは、「お金を前へ。人生をもっと前へ。」というミッションのもと、すべての人のお金の課題解決を目指すプラットフォーム企業です。個人向けのお金の見える化サービス「マネーフォワード ME」のほか、会計・経理財務や人事労務、法務などのバックオフィス業務を支援する「マネーフォワード クラウド」を中心に、個人・法人双方に向けたサービスを提供しています。
https://corp.moneyforward.com/

本件に関するお問い合わせ先

SCSK株式会社
ビジネスデザイングループ
みらい創造事業本部　環境 SPF 事業推進部　水井
E-mail：env-support@scsk.jp

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。